



スポーツの秋、 ユニーク種目で競い合う

P 2～5 西会津町誕生60周年特集
歩み つなぐ 未来へ。

P 6 オープン10周年 道の駅にしあいつ

P 7 健康がいちばん!2014inにしあいつ開催

P 8～11 平成25年度 決算

P 12～13 人事行政運営状況





60th Anniversary 西会津町誕生60周年特集

歩み つなぐ 未来へ。

1954 ~ 2014

写真＝①統合西会津中学校開校式(生徒数271人)[平成14年]／②農業科学研究所・中嶋常允所長の健康な土づくり講演会[平成19年]／③百歳への挑戦パートⅢ開催[平成15年]／④国道400号下谷バイパス開通[平成11年]／⑤道の駅にしあいづ開所[平成16年]／⑥ケーブルテレビ・インターネットサービス開始[平成15年]／⑦西会津町自立宣言の自治区長説明会[平成16年]／⑧町民バス「Let's Go シャトル」運行開始[平成14年]／⑨西会津国際芸術村開村(リトアニア共和国から芸術家2人を迎える)[平成16年]



西会津町自立宣言

先人から受け継いだ郷土「西会津町」を、二十一世紀に生きる子孫に対し、住みよい魅力ある町として引き継ぐことが、今ここに生きる私たちの使命であり、そのために町民と行政が一体となって、協働による特色ある町づくりを確立するため、自立の道を歩むことを宣言する。

平成十六年九月十日

1998(平成10)年

3月 屋内ゲートボール場完成、4月 さゆりが丘ニュータウン分譲開始、7月 ホームヘルパー養成研修開始、8月 集中豪雨により町内に約10億円の被害、9月 奥川ミニライズセンター完成、10月 ケーブルテレビ2期工事が完成し、町内全域で視聴可能になる、12月 町内110カ所の土壌分析開始

1999(平成11)年

2月 健康な土づくり講演・指導会開催、3月 地域振興券の交付開始、議員定数を20名から18名に削減、国道400号下谷バイパスと県道大久保野沢停車場線開通、4月 シルバー人材センター業務開始、7月 県内初の複合型スポーツクラブ「西会津スポーツクラブ」結成

2000(平成12)年

2月 統合中学校の校名が「西会津中学校」に決まる、4月 さゆりオートパーク完成オープン、介護センター完成、6月 下水道野沢浄化センター通水式、8月 にしあいづ健康ミネラル野菜普及会発足

2001(平成13)年

1月 記録的な豪雪により停電・道路通行不能などの被害発生、3月 統合西会津中学校校舎完成、



平成10年から16年の間の歴史的な町の動きは、平成10年に健康な土づくりに向けた土壌分析が始まり、平成12年にミネラル野菜普及会が発足しました。同じく平成10年から町内全域でケーブルテレビ視聴が可能になり、平成15年にはインターネットサービスが始まりました。

平成2年から検討が始まった統合西会津中学校が平成14年4月に開校し、町民バスの運行も同年4月から始まりました。

平成15年には、喜多方・耶麻地方任意合併協議会への不参加を決め、その後、市町村合併に関する説明会や町民アンケート調査を踏まえ、平成16年9月、町議会は、合併せず自立の道を歩むことを宣言する「自立宣言」を全会一致で可決しました。

西会津ヒストリー

西会津町誕生後の「町勢一覧」には、町名選定の理由について「新西会津町地域は旧会津藩西方に位し、阿賀川沿岸や飯豊山脚をめぐり、多くの名所、勝景が展望する風光明媚、稀有の広域をもって、地方産業文化の開発を画策すべき発展的新町を構想するのに、その町名を『西会津町』と呼称することは極めて適切であると認められた。これを町名として選定する所以である」と記されていたそうです。

西会津町史では、1町9カ村が合併する当時、役場庁舎の位置と町名問題が非常に大きな争点になり、喜多方地方事務所が仲介に入ったことを記述しています。また、すでに4年前の昭和25年に青年たちが「西会津青年協議会」と西会津を名乗っていたため、町名の決定に際し、町内の青年たちは「先見の明があった」と誇ったと挿話を紹介しています。(町史第2巻通史Ⅱ近代・現代)



6月 西林大橋開通、10月 新郷中・奥川中閉校記念式典、11月 西会津中・群岡中閉校記念式典

2002(平成14)年

4月 町民バス運行開始、統合西会津中学校開校、デイサービスセンター・生活支援ハウス・高齢者グループホーム完成、6月 商業団地内にミネラル野菜市(直売所)オープン、7月 台風6・7号により町内に大きな被害発生

2003(平成15)年

4月 健康寿命延伸事業スタート、7月 ボランティア活動サポートセンター設立、10月 喜多方・耶麻地方任意合併協議会に参加を決定、百歳への挑戦バートⅢ開催、11月 市町村合併に関する住民説明会開始(翌年3月まで32会場で開催)、12月 ケーブルテレビインターネットサービス開始

2004(平成16)年

4月 高速バスストップ完成、7月 市町村合併に関する町民アンケート調査実施(反対が過半数を超える)、9月 道の駅にしあいつ開所・交流物産館よりつせぐランドオープン、町議会で「西会津町自立宣言」を全会一致で可決、西会津国際芸術村開村

※平成17年以降次号に掲載

佐藤 恵子さん [上野尻]

さとう・けいこ 磐梯町更科生まれ



教

員になって2校目の勤務が奥川小学校で、町の皆さんにお世話になりました。昭和54年当時、国道49号西会津バイパスが建設中で、野沢中央通りのクランク道路や町並みから歴史ある町だと感じました。奥川支所隣の教員住宅に入っていたため郷土史学習会などの公民館活動や、青年団の活動に参加させてもらいました。初めての冬は大雪で、新聞に載ったことを覚えています。

その後、平成3年から16年まで再び町内の小学校に勤めさせてもらいました。その当時は、さゆり公園の運動施設が完成し、50メートルの水泳大会、多目的広場での陸上大会、クロスカ

地域の皆さんと関わりを持ち、
経験を生かして、子どもたちの
支援を続けていきたい

ントリースキー大会など年間を通して整った環境でスポーツができ、また、いわき市豊間小、沖縄県大宜味村との交流学习、学校へのコンピュータ導入、複数の外国語指導助手の配置、ケーブルテレビなど、町の教育に対する姿勢や環境は、ほかの市町村からうらやまれました。

短期間でしたが人材育成講座「さゆり塾」で町の状況や施策を学び、地域づくりに取り組む人たちと意見を交わし、知り合いになれたことは、西会津出身ではない私にとって大きな経験でした。さらに町の海外派遣研修に参加し、アメリカのニューヨーク、シカゴなど日本より何年も進んだ社会、商業施設などを視察し貴重な体験を得ました。

西会津町では、特に健康の町づくりなどで先進的な考えを取り入れ、施策を実行し、一つ一つ夢を実現してきました。成熟した社会になり、少子高齢が一層進むこれからは行政に携わる人だけではなく、一人一人が地

域の在り方などを考え、意識を変えて、できることを実践に移していかなければならないと感じています。私が経験させてもらったような人材育成や交流の場など活動のきっかけづくりも大切です。みんなで集まって何かを行うと大きな力になります。

本当は地元に残りたい若者が仕事を求めて町を離れ、人口が減るといふ難しい問題に直面し、何か地の利を生かし働く場の誘致ができればと考えます。また都会の人に、もっと田舎の素晴らしさを伝え、狭く窮屈な環境が当たり前なのではなく、伸び伸びと自然の中に暮らし、子どもをたくましく育てるといった、本来、人が生きる上で大切なことに気付いてほしいと思っています。

私自身これまでは仕事中心の生活でしたが、今後は近所や地域の皆さんと関わりを持ち、また教師の経験を生かしてボランティアなどで子どもたちの支援を続けていきたいと思っています。



西会津さゆり塾は、豊かで住みよい活力ある町づくりに向け、21世紀を担う人材育成を目的に平成3年8月にスタートしました。平成5年度第3期開講式(写真、5月23日開催、塾生41名)では、塾長を務める聖心女子大学の島田一男名誉教授(前列左から3人目)とアドバイザーの総合研究開発機構・永田尚久理事(前列右から2人目)が基調講演を行いました。2列目左から5人目が佐藤恵子さん。

INTERVIEW 2

大竹 トヨ子さん [原]

おおたけ・とよこ 萱本生まれ

住民みんなが住み慣れた地域で
明るく元気に暮らせるよう、
交流サロン活動を実現させたい

高

校卒業後、上京して12年間東京で暮らし、30歳の時、西会津に戻ってきました。当時、静かすぎて寂しく思いましたが、西会津の自然、空気、星がきれいなことをあらためて実感しました。今は、のどかさこそ町の良さだと思っています。

平成4年から老人保健施設・憩の森に勤め、にしあいづ福祉会に入ってから今年で22年がたちました。早いもので来年3月に定年退職を迎えます。顧みると父母と同居し、また、夫の支えがあったから夜勤をこなし、これまで勤めてこられたと思っています。

私と同じ年に生まれた町の60年の歴史を振り返り記憶に残るのは、平成5年に初めて行われた百歳への挑戦・町民大会に参加したこと、また、待ち望んでいた磐越自動車道の開通、それから食生活改善推進員の研修事業で沖縄を訪問したことなどです。宮古島を訪れ沖縄の皆さんと交流し、勉強させていただきました。ちやうど私が、憩の森に勤め始めたころから、町の健康づくりの取り組みが本格的になり、食生活改善推進員として、みそ汁の塩分調査にもかかり、お世話になりました。まだ子ども

が小さかったころ、西会津ふるさとまつりで開催されていた健康ウルトラクイズに家族で参加し、楽しくクイズに挑戦したことも思い出に残っています。今は亡くなった両親と一緒に参加しました。

現在、町では健康で元気に長生きできるように健康寿命を伸ばす取り組みが進められていますが、今後、少子高齢化がさらに進むため、一人一人食生活の見直しや運動などによって自分の健康は自分で守ることが、これからますます重要になってくると思います。

また、難しいことですが、人口減少に少しでも歯止めをかけるため、若者が町に残れるような、または町に戻って来られるような職、産業を興していかなければならないと思います。

3月の退職を期に、これまでの仕事に手いっぱい、なかなかできなかった手話を覚え、何か役に立つことができればと考えています。

さらに、いま暮らす原自治区の住民みんなが住み慣れた地域で、明るく元気に暮らしていけるよう、交流サロン活動を実現することができたらと思っています。

町では、沖縄の食生活などを体験して健康づくりを学ぶための第1回食生活改善推進員研修を平成9年4月25日から4日間の日程で実施し、町食生活改善推進員57人が宮古島平良市(現宮古島市)を訪れ、同市食生活改善推進員と調理実習、講演会などを通して交流しました。(写真=宮古島空港で横断幕を張って出迎える伊志嶺亮市長ら平良市の皆さん、平成9年4月27日)



オープン10周年



道の駅にしあいづ 交流物産館よりっせ



グランドオープン以来、皆さんに支えられ10周年を迎えた道の駅にしあいづ交流物産館よりっせで9月27日、10周年記念式典を開催しました。オープニングアトラクションで靈山太鼓保存会の皆さんが勇壮な太鼓演奏を披露した後(左写真)、伊藤町長は「道の駅にしあいづから全国に町の魅力を発信して



10年の歩み

2004(平成16年)

6月=よりっせプレオープン、9月=道の駅供用開始・よりっせグランドオープン

2008(平成20年)

2月=非常用発電設備設置[郡山国道事務所]

2010(平成22年)

12月=豪雪に伴い国道49号約33時間通行止め、道の駅が対応拠点になる

2011(平成23年)

3月=東日本大震災被災者の一時避難所となる

2013(平成25年)

3月=防災備蓄倉庫・屋外情報提供ディスプレイ設置[郡山国道事務所]

2014(平成26年)

8月=電気自動車用急速充電設備を設置

います。今後、地域連携販売力強化施設を整備し、さらに道の駅機能を強化する計画です。町の拠点施設として観光振興、交流人口の拡大を一層推進します」とあいさつしました。

武藤道廣町議会議長のあいさつ、来賓祝辞の後、伊藤町長をはじめ関係者がくす玉を割って節目を祝いました。

式典後、町内の保育所児童がこゆりちゃん音頭を、町老人クラブの皆さんがさゆり銭太鼓を披露し(右下写真)、10周年に花

を添えました。

会場のミネラル野菜・地場産品の直売コーナー、記念感謝セール、沖縄商品つかみ取り、わんちゃん集まれっ会、キッズコーナーなどの催しには町内外から多くの来場者が集まりました。また会場では、もちや豚汁が無料で振る舞われ、来場者が長蛇の列をつくりました。





「運動」テーマに

町民参加型健康まつり

健康がいちばん！2014 inにしあいづ開催



今 年度の健康まつり「健康がいちばん！2014 inにしあいづ」は運動をテーマに、西会津中学校で10月12日に開催しました。

開会后、振り付けを考案した町健康運動推進員が「こゆりちゃん体操」を初披露しました（上写真）。伊藤町長は「健康は、自覚を持って自ら守ることが大切です。運動を楽しく学び、健康づくりに生かしてください」とあいさつしました（写真①）。

続いて今年開催されたソチ冬季パラリンピックのアルペンスキー回転座位で金メダル、滑降座位で銅メダルを獲得した猪苗代町出身の鈴木猛史さんが「残された体が教えてくれたもの」を演題に講演しました（写真③）。鈴木さんは遠征などの体験談を交じえ、運動や食の大切さを強調しました。講演後、山形を拠点に活動する落語家の笑福亭笑助さんが古典落語などを披露し会場の笑いを誘いました（写真④）。

来場者は、こゆりちゃん体操に挑戦し（写真②）、また、体力測定（写真⑤）、健康運動推進員活動紹介コーナーなどで運動の重要性について理解を深めました。会場では食生活改善推進員の皆さんが手作りのパンプキンケーキを来場者に提供しました。

平成25年度

決算

今月号では平成25年度の町の決算についてお知らせします。

決算で表れる数字は、その年度に町がどのような事業に取り組み、どれだけお金を使ったのか、また財政状況はどうか、将来の負担がどのようになるのかを読み取るために重要な役割を果たします。

一般会計

平成25年度の一般会計の決算は、歳入が68億6千371万円(前年度比1・7%減)で、歳出は66億8千246万円(前年度比1・6%減)となり、歳入総額から歳出総額を差し引いた額は、1億8千125万円です。

また、実質収支から繰越金、町の貯金である財政調整基金への積み立てや取り



歳入

歳入総額は、前年度より1億1千572万円(1・7%)の減額になりました。

項目別には、インターネット使用料や町営住宅等使用料、地域の元氣臨時交付金、西会津小学校新築事業に係る国庫支出金・町債(借入金)などが増額になった一方、地方交付税、県支出金で震災関連の県南・会津・南会津地域給付金給付事業費補助金、災害復旧事業補助金などが減額になったため、前年度を下回りました。

歳出

平成25年度の歳入の特徴は、東京電力福島第一原発事故や風評被害対策関係の補助金など国や県が交付する依存財源が減り、町税、財政調整基金などからの繰入金、寄附金など町が自主的に得られる自主財源が増える結果になりました。

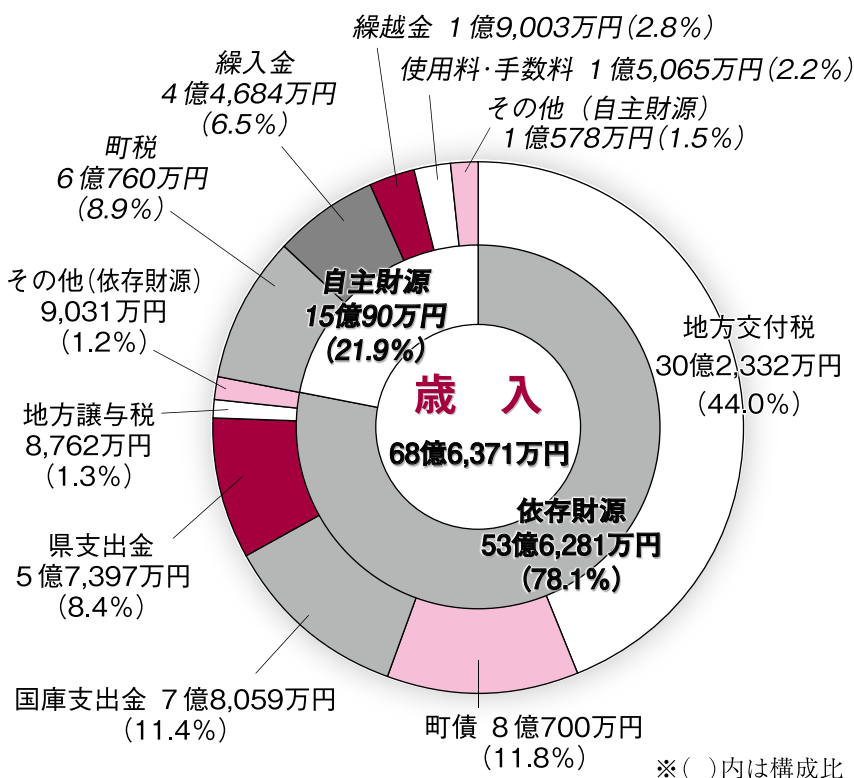
歳入の総額は、前年度より1億693万円、率にして1・6%減となりました。

性質別に見ると、義務的経費では、人件費が3千669万円(4・0%)の減、扶助費は県南・

一般会計の決算収支状況

① 歳入総額	68億6,371万円
② 歳出総額	66億8,246万円
③ 歳入歳出差引額 (①-②)	1億8,125万円
④ 翌年度に繰り越すべき財源	3,089万円
⑤ 実質収支 (③-④)	1億5,036万円
⑥ 単年度収支	1,662万円
⑦ 財政調整基金積立金	5億6,286万円
⑧ 繰上償還金	1億3,016万円
⑨ 財政調整基金取崩額	3億7,000万円
⑩ 実質単年度収支 (⑥+⑦+⑧-⑨)	3億3,964万円

※⑥単年度収支は、⑤実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額



歳出を目的別に見てみると

※()内は構成比

総務費	17億1,640万円	(25.7%)
民生費	10億5,416万円	(15.8%)
教育費	9億1,684万円	(13.7%)
公債費	8億6,312万円	(12.9%)
土木費	8億2,265万円	(12.3%)
衛生費	4億 862万円	(6.1%)
農林水産業費	3億8,553万円	(5.8%)
消防費	2億6,177万円	(3.9%)
商工費	9,413万円	(1.4%)
議会費	8,196万円	(1.2%)
労働費	6,308万円	(1.0%)
災害復旧費	1,420万円	(0.2%)



野沢保育所運動会

西会津小学校新築事業
 決算額 5億2千942万円

平成25年度から本格的な新校舎の建築に着手しました。町では約2万6千500平方メートルの用地を取得し、平成25年度に開始した新校舎建築主体・電気・機械設備工事は、今年度も順調に進んでいます。

このほか今年度は外構工事に着手する予定で、今年度内に新校舎が完成し、平成27年4月から新しい校舎での授業がスタートします。

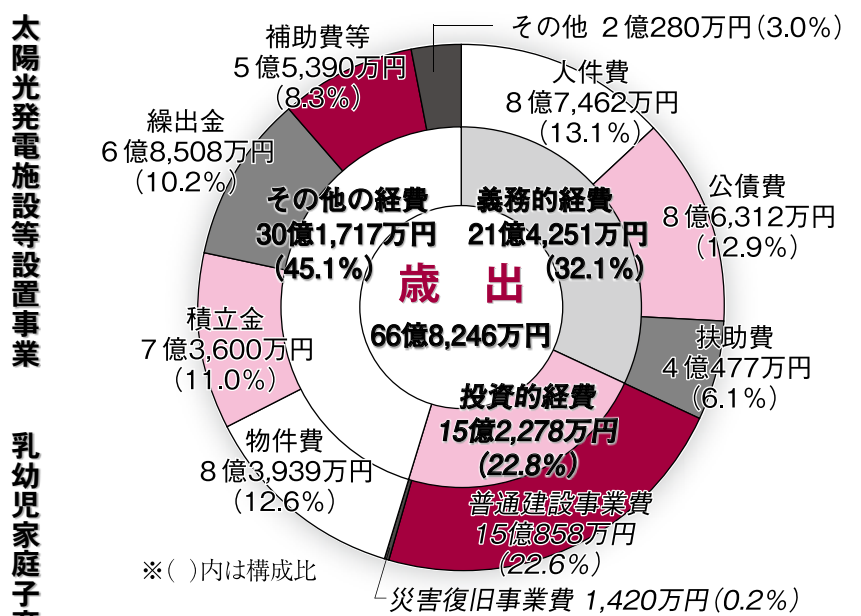
会津・南会津地域給付金の減などにより、4億7千501万円(54.0%)の減額となりました。投資的経費では、普通建設事業費が4億890万円(37.2%)の増額となりましたが、災害復旧事業費は1億9千788万円(93.3%)の大幅な減額となりました。

物件費などのその他の経費は、1億2千660万円(4.4%)増加しました。

目的別では、総務費が全体の25.7%を占め、次いで、高齢者・障がい者福祉、児童手当や保育所運営費などを含む民生費が15.8%、教育費13.7%、公債費12.9%の順になっています。平成25年度に実施した主要事業は次のとおりです。

太陽光発電施設等設置事業
 決算額 1億1千79万円

災害時に備え、太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した自立・分散型エネルギーシステムを構築し、また地球温暖化対策を推進するため、町では、県の補助事業を活用し公共施設への太陽光発電施設導入を計画的に進めています。平成25年度はケーブルテレビ放送センター、西会津診療所、さゆり公園体育館に発電・蓄電設備を設置しました。今年度は、西会津小学校新校舎への設置を行っています。



乳幼児家庭子育て応援金
 決算額 644万円

町では、家庭での子育てと乳幼児の健やかな成長を支援するため、平成25年度に乳幼児家庭子育て応援金制度を創設しました。この応援金は2歳になるまでの乳幼児を、保育所を利用せず家庭で育児する保護者に、乳幼児1人当たり月額1万円を支給するものです。平成25年度は、保護者60人(乳幼児68人)に応援金を支出しました。今後も町では子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進めていきます。

町では、各種事業の実施にあたって国、県の補助事業や翌年度以降に地方交付税で返済財源が補てんされる有利な地方債(借入金)を活用するなど財政負担の軽減を図っています。

次ページでは平成25年度に実施したそのほかの事業などを掲載しています。

平成25年度 一般会計の主な事業

議会費 8,196万円

総務費 17億1,640万円

- ・携帯電話等エリア整備事業 …… 2,061万円
- ・集落支援員配置事業〔繰越含む〕 …… 455 〳
- ・定住住宅整備費補助金 …… 890 〳
- ・地域おこし協力隊配置事業 …… 241 〳
- ・太陽光発電施設等設置事業〔繰越含む〕 …… 6,378 〳
- ・町民バス運行业務委託料 …… 6,207 〳
- ・選挙費〔参議院議員・町長・町議補欠〕 …… 1,530 〳

民生費 10億5,416万円

- ・国民健康保険特別会計繰出金 …… 1億2,581万円
〔事業勘定・診療施設勘定〕
- ・出産祝金・結婚祝金 …… 454 〳
- ・後継者対策事業 …… 161 〳
- ・介護保険特別会計繰出金 …… 1億5,420 〳
- ・後期高齢者医療療養給付費負担金 …… 1億1,628 〳
- ・障がい者福祉サービス費 …… 1億629 〳
- ・乳幼児家庭子育て応援金 …… 644 〳
- ・児童手当 …… 7,988 〳
- ・保育所業務委託料 …… 1億6,698 〳

衛生費 4億862万円

- ・水道事業会計繰出金 …… 9,428万円
- ・簡易水道施設整備事業補助金 …… 656 〳
- ・インフルエンザワクチン予防接種事業 …… 1,023 〳
- ・放射性物質検査手数料 …… 160 〳
- ・各種検診委託料 …… 1,655 〳
- ・妊婦健康診査事業 …… 258 〳
- ・喜多方地方広域市町村圏組合負担金 …… 5,184 〳
〔斎場費、ごみ処理費等〕
- ・ごみ収集委託料 …… 3,434 〳

労働費 6,308万円

農林水産業費 3億8,553万円

- ・中山間地域等直接支払事業 …… 8,117万円
- ・加工開発活動支援補助金〔繰越含む〕 …… 649 〳
- ・青年就農給付金 …… 825 〳
- ・農林水産物P R支援事業 …… 297 〳
- ・農業集落排水処理事業特別会計繰出金 …… 7,258 〳
- ・ため池耐震性検証・ハザードマップ作成〔繰越〕 …… 1,591 〳
- ・林道岩井沢橋ノ木平線開設工事 …… 2,087 〳

商工費 9,413万円

- ・鳥追観音公衆便所建築工事 …… 1,573万円
- ・消費者行政推進費 …… 769 〳
- ・ふくしま復興町内企業支援補助金 …… 117 〳
- ・銚子ノ口外構木質化工事 …… 399 〳

土木費 8億2,265万円

- ・除雪費 …… 1億4,577万円
- ・除雪機械購入費〔繰越含む〕 …… 1億8,099 〳
- ・町道改良舗装工事〔繰越含む〕 …… 2億3,632 〳
- ・明神橋耐震補強工事 …… 4,101 〳

消防費 2億6,177万円

- ・喜多方地方広域市町村圏組合 …… 1億2,942万円
負担金〔消防費〕
- ・防火水槽新設工事〔6基、繰越〕 …… 3,668 〳
- ・消防ポンプ自動車購入〔1台〕 …… 1,890 〳
- ・全国瞬時警報システム構築整備委託料 …… 1,733 〳

教育費 9億1,684万円

- ・新田正夫教育振興基金積立金 …… 2,000万円
- ・自動食器洗浄機購入費 …… 1,649 〳
- ・スクールバス運行业務委託料 …… 3,023 〳
- ・西会津小学校新築事業 …… 5億2,942 〳

災害復旧費 1,420万円

公債費 8億6,312万円

特別会計

町では一般会計のほか、10の特別会計と水道事業会計で事業を行っています。特別会計等では、上下水道の整備や運営のほか、国民健康保険、国保診療所、後期高齢者医療や介護保険などの運営を行っています。

平成25年度のすべての特別会計等の決算は歳入が32億6千362万円、歳出は31億8千298万円となりました（特別会計等の決算状況は11ページ右下表）。特別会計等で行った主な事業は次のとおりです。

野沢処理区

下水道管敷設工事

〔下水道施設事業特別会計〕

決算額 7千757万円

町の下水道は、特定環境保全公共下水道として平成5年から整備を進めています。

平成25年度は、堀越地区の舗装本復旧工事、牧地区の下水道管敷設およびマンホールポンプ設置工事を行いました。

個別排水処理施設整備工事

〔個別排水処理事業特別会計〕

決算額 2千34万円

公共下水道や農業集落排水などの集合処理地区以外では、町が保守管理を行う合併処理浄化

槽の整備を進めています。平成25年度は、野沢地区2基、尾野本地区6基、群岡地区1基、新郷地区3基、奥川地区2基、合計14基の浄化槽を整備しました。

診療所施設整備事業

〔国民健康保険特別会計〕

決算額 8千528万円

地域医療の安定・充実を図るため、平成25年度は西会津診療所において施設改修のほか、太陽光発電施設の設置、駐車場整備、骨密度測定装置や検査用顕微鏡などの更新を行い、診療機能を充実し、さらに医療情報を閲覧できるパソコン機器を導入するなど地域医療機関との連携体制の強化を図りました。

水道施設中央監視装置更新工事〔繰越事業〕

〔水道事業会計〕

決算額 8千39万円

町では、N T T回線を使った中央監視装置で町内各地に点在する水道施設の水量、配水池の水位、運転状況などを監視してきましたが、老朽化が進んだため、平成25年度に機器の更新を行いました。この更新でN T T回線から町ケーブルテレビ回線の利用に切り替え、施設維持管理費の負担軽減を図りました。

財政の健全化に関する比率

平成25年度決算における財政健全化判断指標の実質公債費比率や将来負担比率は、左上表のとおりで、国が定める基準値を下回っており、前年度より実質公債費比率が0・7%の減、将来負担比率は15・6%減少し数値が改善しました。

この要因は、町債(借入金)を返済金の範囲内で借りる

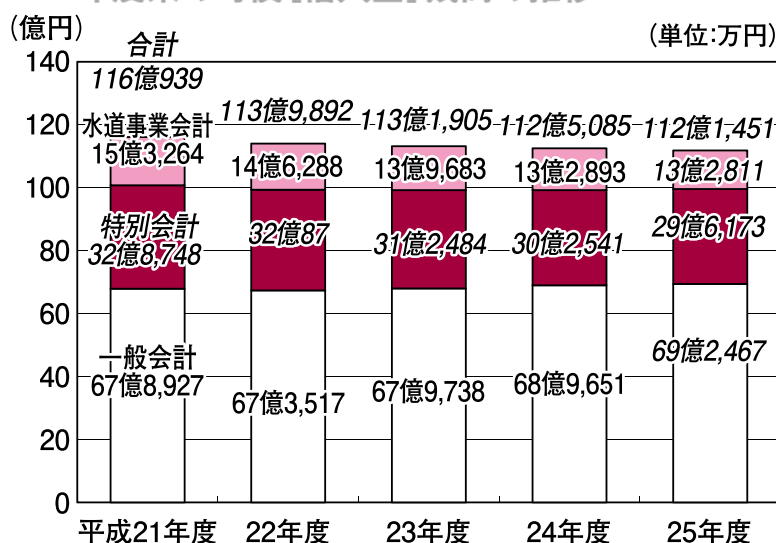
とともに、地方交付税で返済財源が補てんされる有利な町債(借入金)以外は極力借入れを抑制してきたためです。また、町債(借入金)の残高についても年々減少しており、平成25年度末は、112億1千451万円と

なっています(左下表)。しかしながら、町の歳入は、地方交付税が44%を占め、約8割が依存財源であることから、今後も引き続き計画的な町債の借り入れをはじめ、将来負担の抑制、自主財源の確保、さらに事務事業の合理化などに積極的に取り組み、中長期的視点にたった健全な財政運営に努めていきます。

健全化判断比率

指標	平成24年度	平成25年度	基準値
実質公債費比率 (標準財政規模に占める借入金の返済額の割合)	14.4%	13.7%	25%以上 →早期健全化 35%以上 →財政再生
将来負担比率 (標準財政規模に対する将来の負債の割合)	106.3%	90.7%	350%以上 →早期健全化

年度末の町債[借入金]残高の推移



※上記の残高のうち、およそ6割が地方交付税で補てんされるため実質的な町の負担は4割程度になっています。

基金[貯金]の残高

単位:万円

基金名	平成25年度末 残高
財政調整基金	13億7,847
減債基金	52
庁舎整備基金	1億5,521
ふるさと振興基金	1,072
生きがい福祉基金	1,087
小中学校交流基金	2,193
国民健康保険給付費支払準備基金	1億1,711
介護給付費準備基金	2,780
下水道排水設備工事費貸付基金	1,271
東日本大震災復興基金	8,128
介護保険財政安定化特例基金	200
新田正夫教育振興基金	1,893
地域の元気臨時交付金事業基金	8,304
土地開発基金	9,175
生活援助貸付基金	1,004
肉用牛特別導入事業基金	719
高額療養費支払資金貸付基金	400

※徳沢・上野尻駅簡易委託業務運用基金は廃止

特別会計等 決算の状況

単位:万円

特別会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	
工業団地造成事業	2	0	2	
商業団地造成事業	1,352	5	1,347	
住宅団地造成事業	174	165	9	
下水道施設事業	2億1,331	2億1,111	220	
農業集落排水処理事業	1億616	1億370	246	
個別排水処理事業	4,778	4,651	127	
後期高齢者医療	9,932	9,930	2	
国民健康保険	事業勘定	10億2,820	9億7,412	5,408
	診療施設勘定	3億3,356	3億2,122	1,234
介護保険	10億5,121	10億2,958	2,163	
簡易水道等事業	8,720	8,327	393	
水道事業会計	収益的収支	1億5,269	1億4,153	1,116
	資本的収支	1億2,891	1億7,094	▲4,203



人事行政 運営状況

職員数、給与などを公表

②職員給与の状況[平成24年度一般会計決算]

職員数(A)	給与費計(B)	1人当たり給与費B/A
96人	53,901万円	561万円

※職員数は一般会計で給与を支出している人数

③平均給料月額など

職 種	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
行 政 職	333,100円	370,500円	43.2歳

※平均給料月額とは基本給の平均で、平均給与月額は給料月額と扶養手当や住居手当などの諸手当の額を合計したもの。

④ラスパイレス指数[各年度4月1日現在]

年 度	西会津町	福島県内 町村平均	全 国 町村平均
平成25年度	105.9 (97.7)	105.8 (97.8)	103.2 (95.4)
平成20年度	95.3	96.5	94.2

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の町職員の給与水準を示したものの。平成25年度の()内は国家公務員が時限的な(2年間)給与改定特例法による給与減額を行わない場合の値。

⑤初任給の状況[平成25年4月1日現在]

区 分	西会津町	福 島 県	
行 政 職	大学卒	175,100円	181,800円
	高校卒	142,500円	146,900円
技能労務職	高校卒	139,600円	144,500円
	中学卒	127,500円	136,100円

⑥手当の状況

◆扶養手当[年額]

内容および 支給単価 (平成25年4月1日現在)	支給実績額 (平成24年度決算)	支給職員1人当 たり平均支給額 (平成24年度決算)
配偶者 13,000円	15,330,000円	251,311円
配偶者以外 6,500円		
16歳から22歳ま での子への加算 措置 5,000円		

町職員の人数や給与、勤務条件など人事行政の運営状況について地方公務員法に基づきお知らせします。なお、他団体と比較できるように国の統一公表様式に準じているため、1年前の数値で公表しています。

1. 職員数など

①職員数の状況[平成25年4月1日現在] 単位：人

職 種	職 員 数
行 政 職	113
医 療 職	4
技能労務職	1
合 計	118

※条例で定める職員定数は164人で、46人少なくなっています。

②部門別職員数[平成25年4月1日現在] 単位：人

部 門	職員数	部 門	職員数
議 会	2	商工観光課	7
総 務 課	13	農林振興課	9
企画情報課	8	建設水道課	14
町民税務課	13	出 納 室	3
健康福祉課	37	教 育 課	12
合 計			118

③職員の採用および退職の状況 単位：人

職 種	採用 (H25.4.1)	退職(H24.4.2~H25.3.31)			合計
		定年	勸奨	その他	
行 政 職	3	2	2	1	5
技能労務職	0	0	0	0	0
合 計	3	2	2	1	5

※町では、平成16年度から業務の効率化、事務事業の見直しなどにより職員数を削減しています。

2. 職員の給与など

①人件費[平成24年度一般会計決算]

歳出総額 (A)	678,940万円
人件費 (B)	90,810万円
人件費率 B/A	13.38%

◆期末・勤勉手当[平成24年度]

期末手当	勤勉手当	1人当たりの平均支給額
2.55月分	1.35月分	1,446,582円

※職制上の段階などによる加算措置として、役職加算で5～15%を加算しています。期末・勤勉手当は年間3.90月分を6月と12月の2回に分けて支給。なお、国の支給割合は期末手当2.60月分、勤勉手当1.35月分。

◆退職手当[平成25年4月1日現在]

区分	自己都合	勧奨・定年
勤続20年	23.03月分	28.7875月分
勤続25年	32.83月分	38.955月分
勤続35年	46.55月分	55.86月分
最高限度額	55.86月分	55.86月分

⑦特別職の報酬など[平成25年4月1日現在]

区分		給料月額等
給料	町長	364,500円 (729,000円)
	副町長	612,700円
報酬	議長	265,400円
	副議長	216,900円
	議員	195,000円
期末手当	町長	2.90月分
	副町長	
	議長	
	副議長	
	議員	

※給料および報酬の()は、減額措置を行う前の金額

3. 勤務時間の状況

◆勤務時間[平成25年4月1日現在]

1週間の勤務時間	1日の勤務時間
38時間45分	7時間45分

勤務体系	開始時刻	終了時刻
通常	午前8時30分	午後5時15分

勤務体系	休憩時間
通常	正午～午後1時

◆住居手当[年額]

内容および支給単価 (平成25年4月1日現在)	支給実績額 (平成24年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成24年度決算)
借家(家賃9,500円以上) 上限27,000円	3,489,000円	268,346円

◆通勤手当[年額]

内容および支給単価 (平成25年4月1日現在)	支給実績額 (平成24年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成24年度決算)
交通機関利用 月額相当額	8,298,000円	101,196円
自家用車利用 2,700円～ 45,800円		

◆管理職手当[年額]

内容および支給単価 (平成25年4月1日現在)	支給実績額 (平成24年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成24年度決算)
課長職以上 参事～44,600円 課長～42,300円 主幹～29,800円 診療所長～ 150,100円 診療所長代理～ 123,500円	11,335,000円	708,406円

◆寒冷地手当[年額]

内容および支給単価 (平成25年4月1日現在)	支給実績額 (平成24年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成24年度決算)
11月～3月 7,360円～ 17,800円	7,680,000円	65,085円

◆特殊勤務手当[平成25年4月1日現在]

支給実績(医師分を除く)	325,700円
手当支給職員の割合	11.2%
手当の種類	8種類

大規模災害に備え協定を締結

町は、福島県エルピーガス協会会津支部西会津方部会と「災害時におけるLPガス等の供給協力に関する協定」を結びました。締結式は9月25日に交流物産館よりっせで行われ、伊藤町長と同西会津方部会の相馬有二会長が協定書を交わしました。協定は、大規模な災害発生に伴う避難所開設に備え、迅速、円滑にLPガスや炊事・暖房器具、発電機などを確保することを目的に締結しました。伊藤町長は「災害時の町民生活に欠かせないエネルギーの供給協力に関する協定を結ぶことができました。県エルピーガス協会の皆さんに感謝します」とあいさつしました。[写真＝協定書を交わす伊藤町長と相馬有二会長(右)]



西会津さゆり優勝 県選抜ゲートボール大会

第12回県選抜ゲートボール大会シニア女子の部(65歳以上)に出場した西会津さゆりチームが優勝を果たし、9月12日、その報告のため選手の皆さんが町役場を訪れました。大会は7日、さゆり公園ふれあい広場で開かれ、シニア女子の部には県内各支部選抜の16チームが出場しました。決勝戦では西会津さゆりが大逆転で行仁クラブ(会津若松市)を下し、初優勝を決めました。西会津さゆりチームは来年5月に宮城県で開催される全国大会に出場します。[写真＝左から齋藤知一町ゲートボール協会長、秦フミエさん(萱本)、堀江恭子さん(宝川)、伊藤町長、主将の佐藤君子さん(下野尻)、佐藤久子さん(宝川)、齋藤千代子さん(芝草)]

プロ奏者の美しい音色に酔いしれる

NHK交響楽団などプロオーケストラに客演するフルート奏者・泉真由さんと、今までに聴いたことがないギターと称賛され、新しい世代の音楽家として注目を集めるギタリスト・鈴木大介さんによるコンサートが9月19日に旧尾野本小講堂で、21日に西会津国際芸術村で開かれました。一般社団法人ムジカテミス、西会津国際芸術村、西会津木造旧建築ミュージックフェス検討委員会が主催。来場者は、ぬくもりのある木造建築の会場でプロの音色に酔いしれました。奏者の二人は、大河ドラマ「八重の桜」サウンドトラック作曲家・中島ノブユキさんが、このコンサートのために作曲した作品を初演し、来場者を魅了しました。



今年もフォルクスワーゲンずらり並ぶ

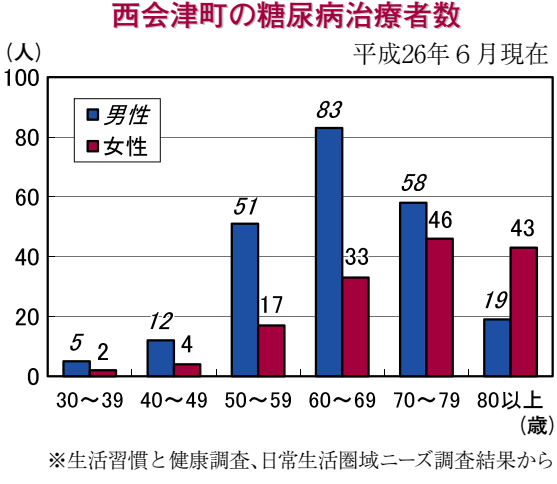
9月28日、西会津の秋の恒例イベント第9回西会津フォルクスワーゲン大集合が、さゆり公園で開かれ、県内外のフォルクスワーゲンオーナーの自慢の愛車が会場にずらりと並びました。訪れたワーゲンファンや家族連れは、展示されたビートル、カルマンギア、ワーゲンバスなど約100台を見て回り、また、部品やグッズなどを販売するフリーマーケットで出品者と言葉を交わし買い物を楽しみました。今回は、佐渡屋真さん(千葉県)の56年式タイプ1オーバルが「一番速いで賞」に、倉田吉宏さん(新潟県)の53年式タイプ1昭和28年製造が「一番古いで賞」に選ばれました。

ストップ！糖尿病

怖い「合併症」から身を守る

増える糖尿病
糖尿病の患者数は、生活習慣や社会環境の変化に伴って増加しています。平成24年の国民健康・栄養調査によると、糖尿病が強く疑われる人は、全国で約950万人、糖尿病の可能性がある人は約1千100万人と推計されています。

町では外来受診者の1割が糖尿病で、医療費も高い状況です。血糖値がやや高めの糖尿病予備群の人は、生活習慣を見直し、改善することで健康な体を取り戻すことができます。できることからチャレンジしましょう。



糖尿病は、どんな病気？
糖尿病は、血糖値を下げるホルモン「インスリン」の働きが低下、あるいは不足し、慢性的に血液中のブドウ糖が高くなる病気です。高血糖の状態が続くことで全身を結ぶ血管と神経が侵され、適正な栄養の供給が途絶えて臓器にさまざまな障害が生じます。これを慢性合併症と呼んでいます。

初期の糖尿病は、ほとんど自覚症状がないため合併症を引き起こす危険性が高く、発症後5〜10年で神経、網膜、腎臓に合併症を引き起こし、このほか心筋梗塞、脳梗塞、感染症を引き起こす危険性があります。

このため健診結果の「血糖値」や「HbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）」過去の1〜2カ月の血糖の状態を示す「尿糖」の項目に注意し、糖尿病を早期に発見し、改善に取り組むことが重要です。糖尿病は慢性疾患で治療と自己管理が生涯必要な病気ですが、これをきちんと行えば通常の生活を送ることができます。



三大慢性合併症

網膜症 目の網膜内の血管に障害が起これ、視力の低下や失明を招く病気です。失明の原因の第1位で、初期には自覚症状がほとんどありません。

腎症 腎臓の血管が壊れ機能が低下します。腎症が進むと、塩分やタンパク質の摂取量を厳しく制限する食事療法が必要になり、さらに症状が進行すると、機械で血液をろ過する人工透析が必要になってきます。

神経障害 神経細胞に血液を供給する細い血管が壊れ、末梢神経の繊維が侵され、手足のしびれ、痛みなどの症状が現れます。

予防しよう糖尿病

● **肥満を解消しよう** 体脂肪が増えると血糖をコントロールするインスリンの働きが悪くなります。適正体重を目標に減量しましょう。

BMI 体格指数

= 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)

- 18.5未満 = やせている
- 18.5以上25未満 = 標準
- 25以上 = 肥満

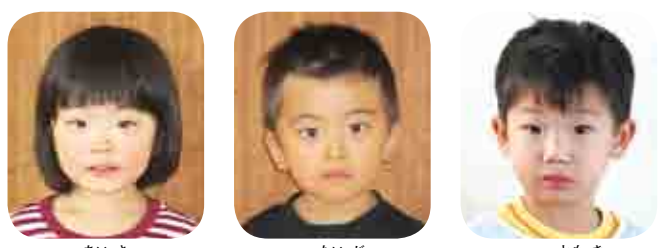


適正体重

= 身長(m) × 身長(m) × 22

すごいな！むし歯のない子

9月24日、3歳児5名を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は3名でした。



あいさ 築田 愛紗ちゃん (西林東)
たいが 大塚 大雅くん (西林東)
ともき 長谷川 智輝くん (森野)

- **運動の習慣をつけよう** 定期的な運動は、インスリンの働きをよくします。
- **規則正しく食べよう** 食事は1日3回、規則正しく食べましょう。過食や欠食は血糖のコントロールを乱しやすくなります。
- **お酒は適量を守り週2日は休肝日**に
- **菓子や甘い飲み物は控えましょう** 間食は、カロリーの取り過ぎにつながりません。特に飲み物に含まれる糖質は血糖を急激に上げます。このほか、たばこに含まれるニコチンも血糖値を上昇させますので禁煙をお勧めします。



豆腐で作る簡単ヘルシーな一品

材料 (2人分)

木綿豆腐 1丁
ほうれん草 1束
ベーコン 30g

A
みそ 大さじ1
牛乳 大さじ4
すりごま 大さじ1
こしょう 少々

作り方

- ①豆腐はよく水を切って、食べやすい大きさに切る。ほうれん草は、ゆでて3cmに切る。ベーコンは1cm幅に切る。
 - ②耐熱皿に豆腐、ほうれん草、ベーコンを並べる。
 - ③Aをとろりとなるまでよく混ぜ合わせ、②にかける。
 - ④チーズをのせ、オーブントースターで焼き色がつくまで約5分焼く。
- ※さつとゆでたジャガイモ、かぼちゃ、しめじ、また、アサリ、エビ、イカなどを入れ、ひと工夫してみてください。

豆腐と ほうれん草の 熱々 グラタン

16



チャレンジ!!

シリーズ

食育

●病気知らずの体づくり

免疫力を高める
しっかりと野菜を食べ、



体を芯から温め免疫力さらにアップ

でんぷん質（かたくり粉、ジャガイモ、里芋、山芋、くず粉）で、とろみをつけた料理は冷めにくく、体が温まるためお勧めです。

シチューやマーボー豆腐、鍋物、なめこ汁、おでんなどはこれからの季節にぴったりです。ほっとできる家庭料理は元気の源になります。

寒

乾燥する冬は、細菌やウイルスに感染しやすく風邪をひきやすい季節です。きちんと食べて栄養を補給し、病気を防ぐ「免疫力」を高め、細菌などから体を守りましょう。食事は、自然に体を温めるのでこれからの寒い時季には重要です。

免疫力を高めるポイント

- ◆腸内環境を整えるⅡ腸は体内で最大の免疫器官といわれています。腸の善玉菌を増やすヨーグルト、納豆、キムチなどの発酵食品や便通をよくする食物繊維を多く含む食材は腸の免疫細胞を活発にします。
- ◆抗酸化成分を含む野菜をたっぷり取るⅡビタミンA・C・Eなどさまざまな栄養を含む野菜には抗酸化作用があり、免疫細胞を増やし、また活性化する働きがあります。1日に5〜7種類を目標に野菜を食べましょう。
- ◆タンパク質が免疫力を支えるⅡ免疫細胞や皮膚、粘膜の材料になるタンパク質は、免疫力を支える栄養素です。毎食タンパク質を含む肉や魚介、豆腐、大豆製品、乳製品などを一つでも食べ、欠かさないようにしましょう。
- ◆ビタミンCが粘膜強化に役立つⅡ病原体が体に侵入するのを防ぎ、守ってくれる皮膚や口、鼻、のどなどの粘膜を丈夫に保つことは病気の予防に欠かせません。ビタミン豊富な野菜は1日350g（小皿5皿）、果物は片手にのる分量を食べるようにしましょう。

野菜をたっぷり食べましょう。目標は1日350g



市町村対抗野球・ソフト

西会津町チーム健闘

福島民報社などが主催する第8回市町村対抗福島県軟式野球大会と第1回同ソフトボール大会がこのほど開催され、軟式野球大会で西会津町は玉川村に3対2で勝利し、3年ぶりに初戦を突破しました。一方、今回初めて開かれたソフトボール大会では、西会津町は古殿町と対戦。残念ながら1対11で敗れ初陣を飾りませんでした。

軟式野球大会

第2回大会から7回連続出場となる西会津町は、3年ぶり2度目の初戦勝利を飾りました。

初戦の相手は玉川村で、9月15日、郡山市の開成山野球場で対戦しました。

1対1で迎えた3回、2アウト1、2塁から星光輔選手(四岐)がセンター前にヒットを放ち、勝ち越し、続く佐藤健吾選手(上野尻)のタイムリーヒットで、同回2点を加えました。

三留怜央投手(上野尻)と清水啓佑捕手(9町内1)のバッテリーは丁寧なプレーを繰り返して、7回を2安打に抑え、また、チームも無失策で堅い守備を見せ、玉川村に勝利しました。



▲左=好ブロックで得点を阻止した清水捕手、右=好投した三留投手

9月21日に福島市のあづま球場で行われた2回戦では、二本松市と対戦しました。

先発の斎藤慎司投手(尾登)に続いて、三留怜央投手が継投し、中盤まで1点を争うシリーズゲームになりました。3対2で西会津町がリードし迎えた6回、相手の主軸打線に捕まり、同回3点を追加され、逆転を許しました。西会津町は最終回の7回に、1点を返し反撃しましたが、4対7で勝利を飾りませんでした。

二本松市はその後、準決勝まで勝ち進んで第3位になっており、西会津町は強豪相手に善戦しました。

大会後、伊藤一男監督(下野尻)は、「チームが目指す守りの野球ができました。さらに守備力を強化し、上位を目指したい」と来年に向けた抱負を語りました。

昨年と同様に町実行委員会が主催するツアーなどで大勢の町民の皆さんが球場に足を運び選手を応援しました。

ソフトボール大会

東日本大震災からの早期復興市町村の交流促進などを目的とする市町村対抗福島県ソフトボール大会が今年初めて相馬市で開催され、大会には県内49市町村が参加しました。

西会津町は、町ソフトボール協会加盟チームの選手でチームを結成しました。

10月18日の1回戦で西会津町は古殿町と対戦しました。



▲左=好守でチームを盛り上げた伊藤進也捕手(牧)、右=試合後、応援してもらった皆さんに感謝する選手ら

腕を1回転させ投げるウインドミル投法で力投した三留投手



投手は三留由香選手(西平)が務め、初回を無失点に抑える順調な滑り出しで、3回まで3点に抑える力投を見せました。

0対3の古殿町リードで迎えた4回表、主将の伊藤悠太選手(堀越)がタイムリーヒットを放ち、1点を返す活躍を見せましたが、その裏、8点を追加され、1対11の4回コールドで敗れ初戦を突破することができませんでした。

試合終了後、坂井康司監督(向原)は「緊張し、いつものプレーができなかったのが悔やまれます」と振り返りました。遠く離れた相馬市が会場だったにもかかわらず、渡部憲実行委員長ら関係者が応援に駆けつけ、選手を激励しました。



町民バトンタッチ

につた しょうへい
新田 翔平さん [萱本]

はせがわ まなぶ
 長谷川 学さん (10月号) からメッセージ
 お互い西会津に残っているので地元を盛り上げていきましょう！
 今度みんなで芋煮会でもやりましょう！！

あなたの趣味は？
 読書、野球

特技は？
 狙った時間に起きること

熱中していることは？
 来年の野球・ソフトボール
 シーズンに向けた肉体改造

最近感動したことは？
 兄の結婚式

自分を一言で表現すると？
 優柔不断

あなたのモットーは？
 明日やろうは馬鹿野郎

これからやってみたいことは？
 旅行 (国内も海外も) と
 ゴルフ

次の方を紹介してください
 T・Uさん (宝川)

大切なものは？ 『中学3年の
 とき交通事故で入院し、クラス
 メートなどからももらった千羽鶴、
 色紙、手紙。最高の宝物です』



町民 ギャラリー

さゆり中学

(9月30日学習会)

凍として白き一重の菊の花
 コンバイン動き軽やか夫若し
 「助産婦」の看板古りし秋薔薇
 ゆとりなき日々を変へたし秋野原
 秋祭りおみこしかつぎ子らの行く
 秋晴れや卒寿の母の大笑ひ

井上 洋子 (さゆりが丘)
 白井 重子 (白坂)
 長谷川清子 (下小屋)
 星 多恵子 (9町内1)
 武藤奈美恵 (上小島)
 藤田 静子 (上野尻)

聞いて！ わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。

今月は、特設英語弁論部の部長を務める3年・伊藤果林さんです。



わたしの夢——

「将来の夢は、国際協力の仕事に就いて、何か人のために役に立ちたいと思っています。以前から外国に携わる仕事に興味があり、ある一冊の本で開発途上国の子どもや女性たちの様子を知り、日本での自分の生活との大きな差を感じ、強い衝撃を受けました。それから意識が高まり国際協力の仕事に就きたいと思うようになりました」

努力していること——

「英語は、発音に気を付けて教科書などを読んでいます。苦手な数学も志望校に合格するため一生懸命勉強しています」

未来の自分に一言——

「なりたい職業に就くことができましたか。紆余曲折の道のりかもしれませんが、くじけずに頑張ってください」

まちの人口 ～10月1日現在～ (前月比)

人口	7,147人	(-14人)
男	3,432人	(-5人)
女	3,715人	(-9人)
世帯	2,768世帯	(+2世帯)

戸籍の窓口 ～9月受付分～ 〈敬称略〉

お誕生おめでとう

鈴木 遼太くん 敬規・衣織 芝草

ご結婚おめでとう

中田 聡 5町内
 岩原 菜津美 7町内
 長谷川 大 上野尻
 半澤 かおり 会津若松市

お悔やみ申し上げます

齋藤 一弘 (67)	寿 一	父	1町内
石川 澣 (84)	公 一	父	8町内
渡部 とし (100)	喜 一	母	8町内
八島 キミエ (80)	幸 勇	母	西平座
安部 タツ子 (82)	栄	母	安座
長谷川 嘉助 (88)	義 治	父	安座
山本 テル (94)	文 夫	母	森野
鈴木 勻 (83)	静	父	松尾
物江 タカノ (96)	正 俊	母	下小島
廣瀬 勝 (99)	涉	父	上野尻
平野 トシ (92)	茂 穂	母	上野尻
齋藤 君夫 (69)	浩 司	父	徳沢
佐藤 傳 (96)	勇	父	熊沢
長谷川 ハナ子 (90)	三 和	祖母	梨平

健診後の受診は、お済みですか

働き盛り健(検)診や総合健(検)診で「要精検」のはがきが入っていた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。はがきが入っていなかった人も検査結果をよく確認し、より健康になるため生活習慣を見直すことが大切です。

健康福祉課では健康相談を行っていますのでお気軽に相談ください。

☎ 健康福祉課 ☎ 45-4532

教育委員会委員長に五十嵐さん

田崎敬修教育委員会委員長が10月14日に退任し、町教育委員会委員に五十嵐長孝さんが任命されました。任期は本年10月15日から4年です。五十嵐さんは10月15日に開かれた教育委員会で委員長に選ばれました。



五十嵐 長孝 さん (原)

健康づくりのための食生活教室

受講者をお大募集、年齢・男女は問いません

毎日の食事は私たちの健康に大きく影響します。このため町では、日ごろの食生活の改善、町民の皆さんの一層の健康づくりを推進するため、栄養の基礎知識と調理の基本を学習できる「健康づくりのための食生活教室」を開催します。12月5日(金)に開講します。この教室を20時間以上受講すると町の食生活改善推進員およびエプロンの会への入会資格が得られます。

- ◆募集人数 15人程度 ※11月14日(金)締め切り
- ◆受講資格 町に住居票がある方
- ◆教室内容 調理実習、健康に関する講話など
12月～平成27年2月まで全5回
- ◆会場 町公民館
- ◆受講料 1,000円(テキスト代、実習費)

いきいき健康づくり教室

健康づくり、疾病予防について理解を深め、運動について学ぶ「いきいき健康づくり教室」の受講者を募集しています。開講式は11月18日(火)の予定です。全30時間のうち20時間以上受講すると町の健康運動推進員として活動できます。

- ◆募集人数 15人程度 ※11月10日(月)締め切り
- ◆受講資格 町に住居票がある方
- ◆教室内容 運動中心の健康づくり講話、実技
11月～平成27年2月まで全9回
- ◆会場 町公民館ほか
- ◆受講料 1,000円程度

申込・問い合わせ先 健康福祉課 ☎ 45-4532

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

第9回 THE 9TH NISHIAIZU INTERNATIONAL
ART VILLAGE EXHIBITION 2014
西会津国際芸術村公募展2014から

今月は、第9回西会津国際芸術村公募展2014・青少年の部で大賞に選ばれ、来年11月に予定される東京巡回展での個展開催の切符を手にした小野寺幸那さんにインタビューしました。



大賞受賞作品「わかげのいたり」

今後も絵の中の人物と向き合い、人物画を描き続けたいと思っています。

木に包まれた温かみある校舎の写真に大変惹かれ、国際芸術村公募展に応募しました。美しい校舎の中には数々の作品が展示され、私もこの校舎に作品を展示したいと思いました。作品の力と校舎の力が溶け合い、作品の力が増し、さらに美しくなっているように感じます。私は人物を描くことが大好きで、人物を描く時間を大切にしています。応募した作品は、色調を明るくして女の子らしい柔

らかさを出し、少女が手にする円柱や、降ってくる三角すいは、少女のアイデンティティー（自我）を表現しました。靴下を脱ぎリラックスする一方で、表情は硬く、また個性を見つめて切ない瞳をしています。そのような少女の心境を自由に想像してもらうことができばうれしく思います。人物画の魅力は、平面に命を吹き込めることだと私は考えています。描き進めていくうちに表情が変化し、また、私が考えているコンセプトとは異なった瞳になります。そういったことから絵と対話している気分にもなります。



おの であ ゆきな
小野寺 幸那 さん

宮城県宮城野高等学校2年。今回「わかげのいたり」で大賞に輝く。



国際芸術村公募展2014は、9月20日から10月16日まで開かれました。今回も芸術家を目指す学生や美術愛好家の皆さんから多くの作品が寄せられ、旧新郷中の教室や廊下に、ずらりと絵画が並びました。回を重ねるごとに公募展の知名度が上がり、校舎は素晴らしい作品で埋め尽くされました。会場には、昨年、青少年の部で大賞を受賞した県立福島南高等学校の秋葉沙織さんの作品、八島修一さん（芝草）の切り絵作品、さらに西会津小学校4年生、西会津中学校文化部、さゆり中学、にしあいづ絵画クラブの皆さんの版画作品も特別展示されました。表彰式は10月11日に行われました。[上写真右=今回入賞した皆さん]

今月の表紙

第34回町高齢者・障がい者合同スポーツ大会が10月10日、さゆり公園で開かれ、550人が参加し5地区対抗で競い合いました。参加者は、「じょうご」を付けた棒でボールなどを運ぶリレー「あわてないで」(写真)や、順に衣装を運び選手に着せる速さを競う「ファッションショー」などユニーク種目で熱戦を繰り広げました。

